

①KUR (Kyoto University Research Reactor)

2014年5月26日から施設定期検査期間となり、この期間中に新規制基準（原子力規制委員会により2013年12月18日付けで施行された「試験研究用等原子炉施設の新規制基準」）に対応するため、運転を停止しておりましたが、2017年8月25日付けで施設定期検査の合格証が交付され、翌週の8月29日より3年3ヵ月ぶりに利用運転を開始いたしました。昨年度の利用運転は2019年2月14日で終了して、2月18日から施設定期検査期間となりました。今年度は7月17日付けで施設定期検査に合格し、7月23日から利用運転を開始しました。

なお、昨年度のホウ素中性子捕捉療法（いわゆる癌治療のひとつ）による医療照射の実施件数は30件となっております。

②KUCA (Kyoto University Critical Assembly)

2014年3月10日から施設定期検査期間となり、KURと同様にこの期間中に新規制基準に対応するため、運転を停止しておりましたが、2017年6月20日付けで施設定期検査の合格証が交付され、翌日より利用運転を開始いたしました。昨年度の利用運転は2019年2月15日で終了して、同日から施設定期検査期間となりました。今年度は5月21日付けで施設定期検査の合格証が交付され、5月28日から今年度の利用運転を開始しました。

なお、昨年度のKUCAを用いた学生実験には全国、海外から約140名の学部学生・大学院生が参加しました。

京都大学における事故等事案について

昨年度は該当事案なし。

住民広報について

平成31年度 一般公開 平成31年4月6日（土曜日）開催 （662名）
桜公開 平成31年4月7日（日曜日）開催 （832名）

見学施設：原子炉棟、イノベーションリサーチラボラトリ、廃棄物処理棟

図書棟会議室：当研究所で開発された、福島第一原子力発電所の事故による広範囲の放射能汚染に対し放射線マッピングを効率的・継続的にできるGPS連動型放射線自動計測システムKURAMAとその改良型であるKURAMA-IIに関する紹介、お茶を飲みながらの質疑・応答

図書棟ロビー：研究用原子炉の模型と施設紹介パネルの展示ならびに、研究所紹介ビデオの上映

事務棟会議室：実験教室「霧箱実験（放射線の足跡を見る実験）」、「放射線で宝探し（線源探し）」、「発泡スチロールでハンコ作り」

今後ともこのような機会を通じて、地域住民の方々をはじめとした多くの方々に、原子力とそれを支える基礎的な科学への理解の場を提供して、当研究所における研究・教育活動についてご理解とご協力が得られるように努力いたします。

最後に、今回の一般公開・桜公開の開催にあたりご協力いただきました皆様方に感謝の意を表します。